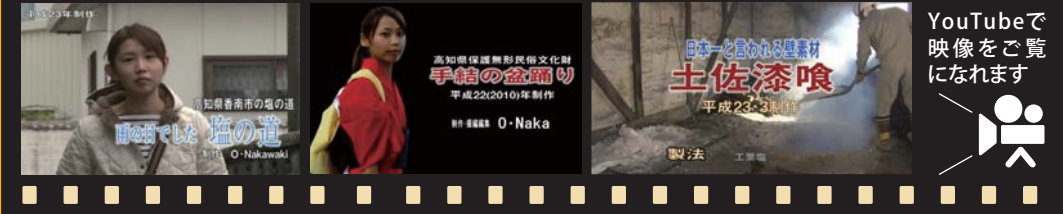


# 匠の技と伝統文化を 今に伝える伝道師 中脇修身さん



浅上王子宮再建を手がけた大工の山中さん取材



◆ 頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介します。…担当/島村 立法

郷土の古い家屋や神社、仏閣などを伝え残すことが難しい今日、私たちの祖先が残した文化財が香南市には多くあります。その調査や映像制作をされている中脇修身さん(野市町)を訪ねました。

## 世界に誇れる土佐漆喰

中脇修身さんは、香川県の四国職業能力開発大学の教授として、大学生と建築の研究や調査に携わってこられました。中でも「土佐漆喰」の研究では第一人者です。

建築が仕事だけに、研究者や職人の観点に立つて、高知城や吉良川町並みの調査もされました。

土佐漆喰は高度な職人技で、顔が映る鏡面仕上げの「手ごすり」壁は神技であり、日本一と言われ、今にその技術が残っています。(西内石灰調査より)

## 大切なのは市民の支援

「古い民家は、10年も経てば消えてなくなってしまう」と言われる中脇さん。現在は姿を消した香我美町の中村邸、岸本の川村邸、山南の長崎邸などを調査。また、現存する野市の「森田正馬生家」や佐古の「毘沙門堂」、赤岡の「細木鷲仙の私塾」「山北浅上王子宮拝殿新築記録」などを調査したとのこと。

さらに、学校や地域での後継者育成が大きな課題となっている無形民俗文化財の「手結盆踊り」や「山北の棒踊り」なども、記録映像として残されています。実は、教材の記録映像は撮影と編集が大変なんです。

「指定外の文化財を含め、保護には多く

のまちの皆さんの支援や協力が無いと難しい」と中脇さんは心配しています。

## まちの文化を伝える

中脇さんは、香南市文化財保護審議会委員(10人)のお一人で、各町に委員がおり、数々の調査や映像作りもボランティアでしているそうです。

「まちの大切な文化を知り、どのように守られ伝えるのか、もっと関心を持っていただき、教育の現場や家庭でHPや映像を見たり、文化財講座にも来てほしい」と最後に言われました。

## 伝統は血の循環

時代とともに技術は進み、多くの人は新しい物を求め、古い物を求めません。しかし、先祖が守ってきた技や心情を理解し、次の世代へ指導するような血の循環が、伝統や文化を残すことになるのではないのでしょうか。

普段は見たことのない文化財や山城跡、地蔵尊など、もともともっと知りたいと思いませんか。

### 関連ホームページ

- ・中脇建築研究所 ・高知県塩の道
- ・中脇修身HP：土佐漆喰(検索)
- ・映像(YouTube) 中脇修身作品



### 編集後記

今年も広報こうなんを  
よろしく申し上げます

あけまして  
おめでとう  
ございます



▼ 年男年女のページ、今年は大くさんの方に登場いただきました。ページができあがり、よく見ると家族が増える方が3人。うれしくなります。平穏と希望に満ちた年になりますように。(猪)

▼ 私たちは、あの震災を忘れてはならない。南海地震に向き合い、今できることを一人ひとり考え実践してほしい。犠牲となった方々のためにも。(m)

▼ 震災が日本全体に暗い影を落とした2011年。そこには、復興に向けた日本人の底力がありました。世界に誇る「和」の精神、助け合いの心を大切に、舞い上がれ日本！ (S)

▼ 昨年は本当にいろいろなことが起こった一年でしたが、日本中の「絆」を再確認できた年でもありました。2012年は空に昇る龍のごとく、未来に向かって上昇していく年になることを祈ります。(あ)

《広報へのメール》  
kouhou@city.kochi-tonan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp